

SANUS®

VSF415壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 22kg以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

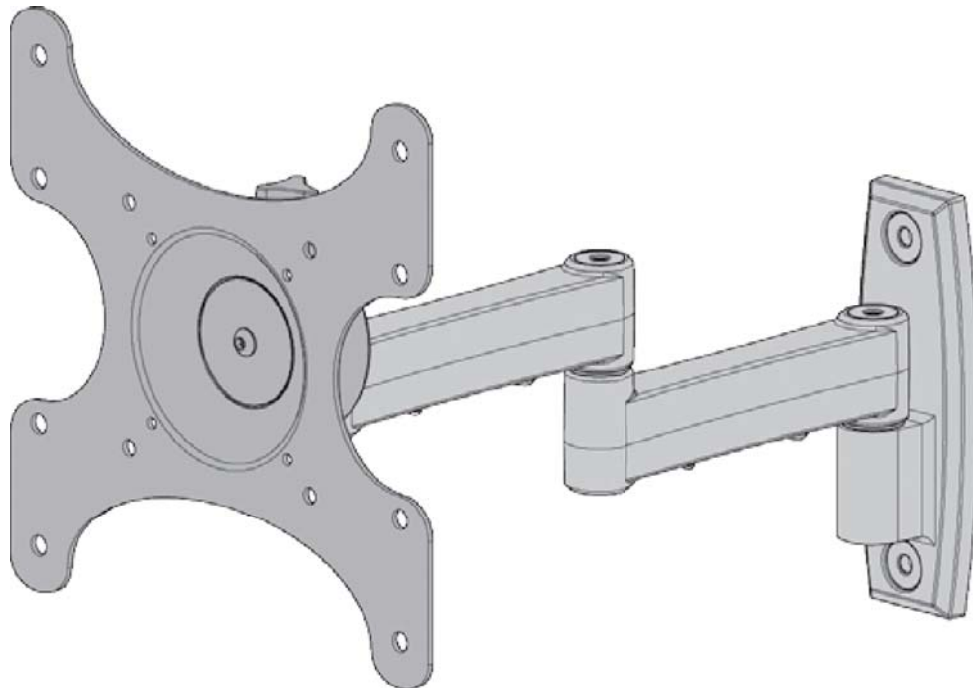
この度は、VSF415の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VSF415は13V型～39V型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒559-0031 大阪市住之江区南港東1丁目2-16

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com

(1)

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VSF415壁掛金具は、13V型～39V型で、総重量22kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



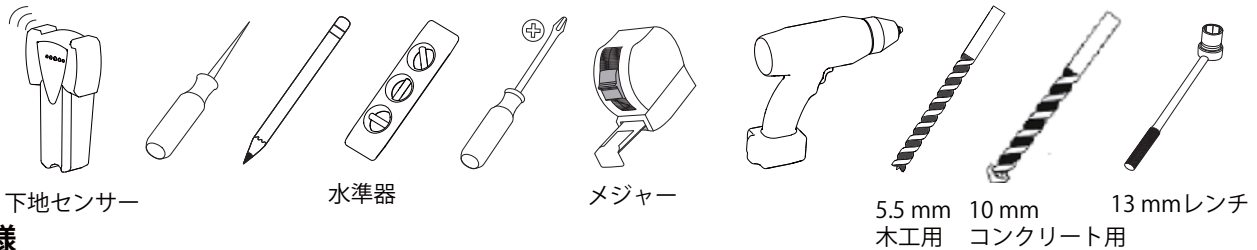
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



仕様

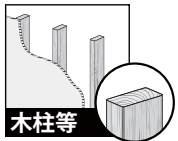
耐荷重 : 22kg (テレビと付属品を含みます)
 適応テレビサイズ : 13V型～39V型
 ※上記を超過しないようにして下さい。

ティルト調整 : -15° +15° 左右首振り角度 : ±90°

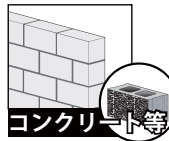
左右の重量バランスに違いのあるテレビを取付ける場合には、壁掛金具に取付けた後でテレビが左(もしくは右)に少し傾くことがあります。

取付可能な壁面

※下記は一例です。実際の施工に関しては専門の工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。



★金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅 38mm 奥行き 89mm以上が必要です。
 ★しっかりとした柱に固定された、厚さ 20mm 以上の構造合板など



★コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
 ★コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。(空洞や隙間のあるブロックには使用できません。)

注意:ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意して下さい。

- ★用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン(株)又は認定業者にお問い合わせください。
- ★付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

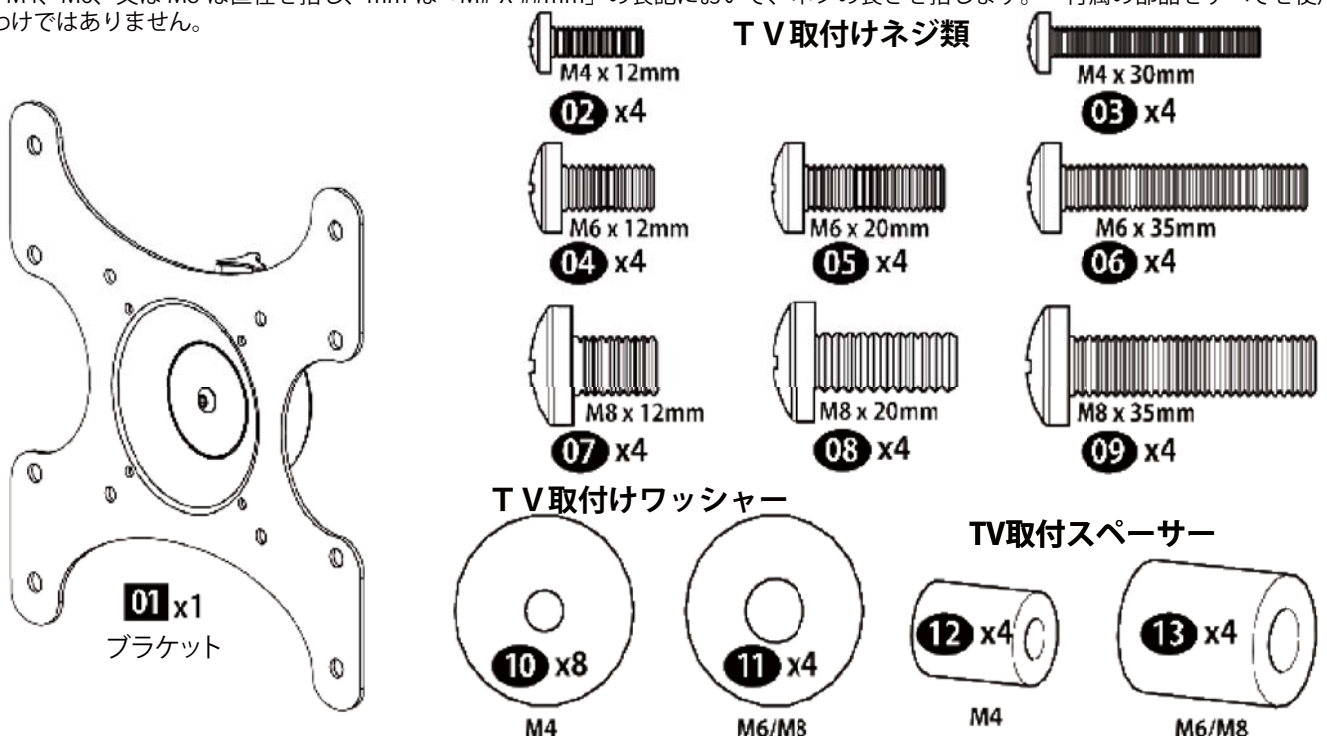
STEP1 ブラケットをテレビに取り付ける

STEP 1 で使用する部品類

警告: 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

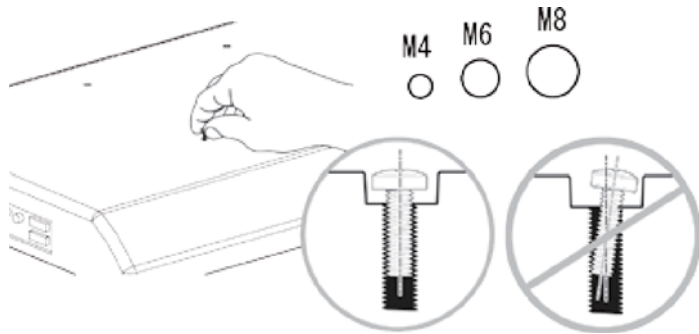
組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン(株)までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

注記: M4、M6、又はM8は直径を指し、mmは「M# X #mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品をすべてを使用するわけではありません。



1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M6 又は M8) を見つけます。



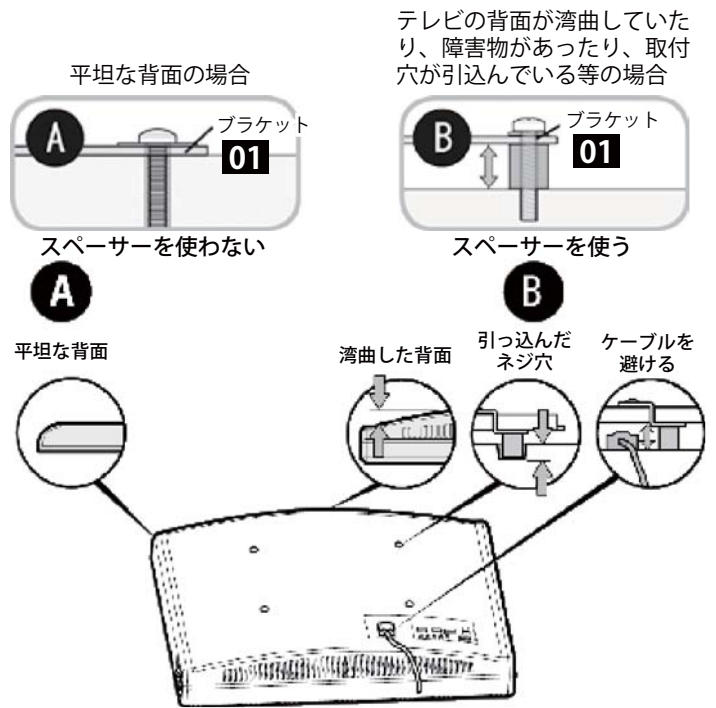
⚠ 注意: ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。



⚠ 注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

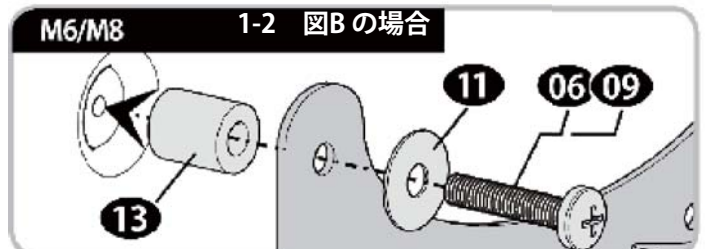
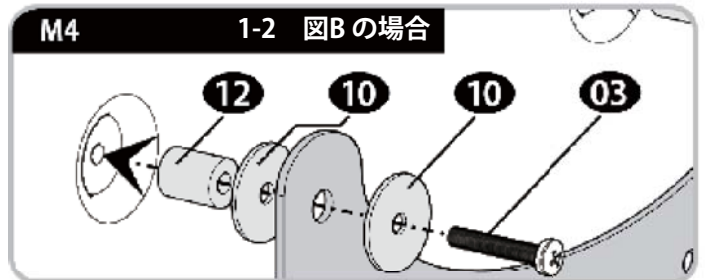
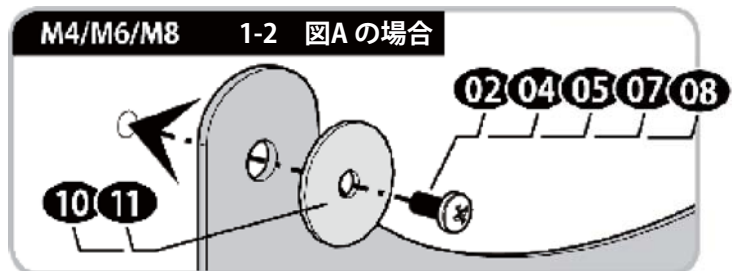
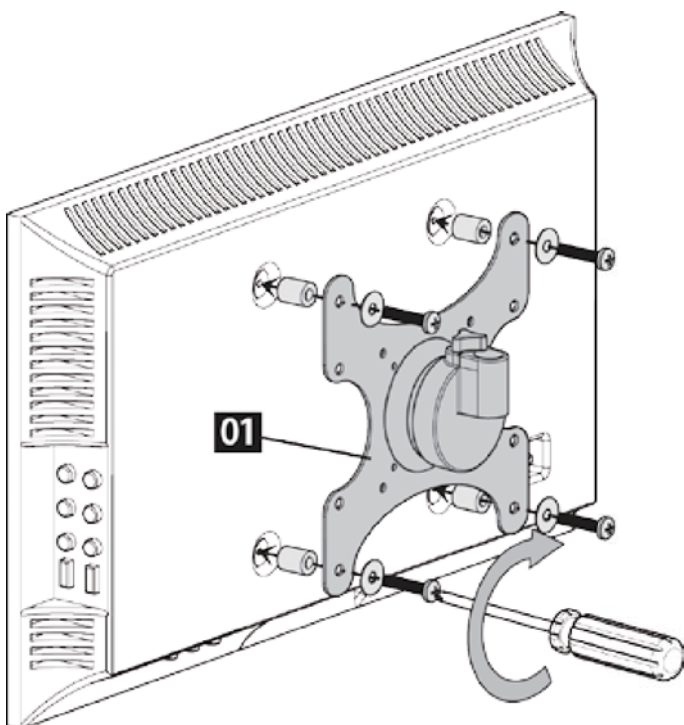
1-2 スペーサーの取付位置

下図の説明をご覧になり、取り付けるテレビの背面の状態に合わせて付属のスペーサーをご利用ください。



1-3 テレビにブラケットを取付ける

前項 1-1 で選択したネジと、対応するワッシャー及びスペーサーを組み合わせて、ブラケット [01] をテレビ背面に取り付けます。ブラケット [01] とテレビの壁掛金具取付用のネジ穴をあわせて、前項 1-2 で選択した取付方法でネジを差し込んでしっかりとネジ止めしてください。



STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁に取り付ける場合は、STEP 2A に従って固定します。コンクリート壁に取り付ける場合は、7 ページの STEP 2 B に従って固定します。

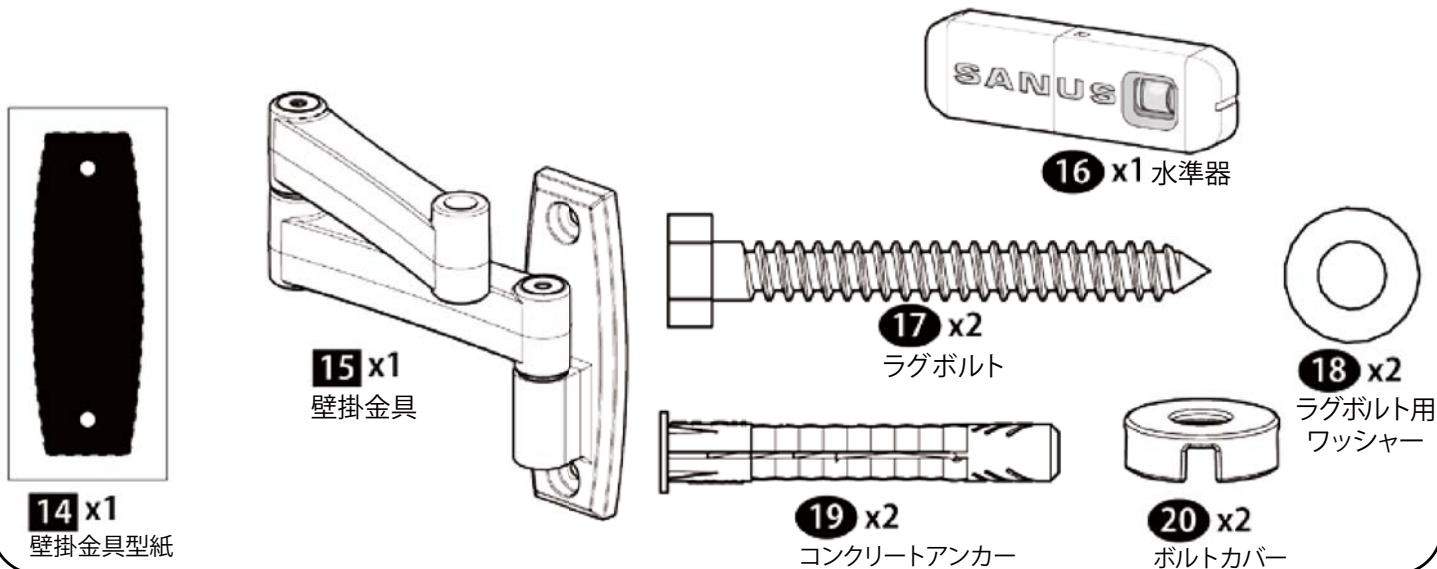
STEP 2 で使用する部品類

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

警告 : 水準器には磁石が含まれています

ペースメーカーや埋め込み型除細動器 (ICD) 等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも 13 センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。



STEP 2A 壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

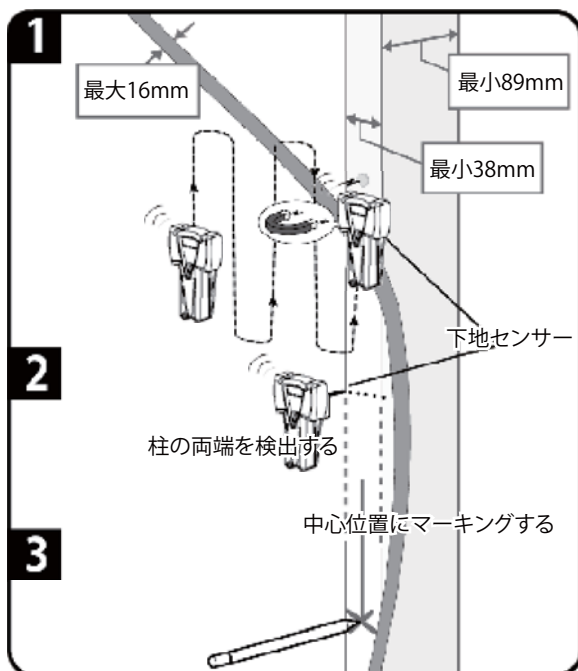
警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm以下にしてください。

★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅38mm 奥行き89mm以上が必要です。

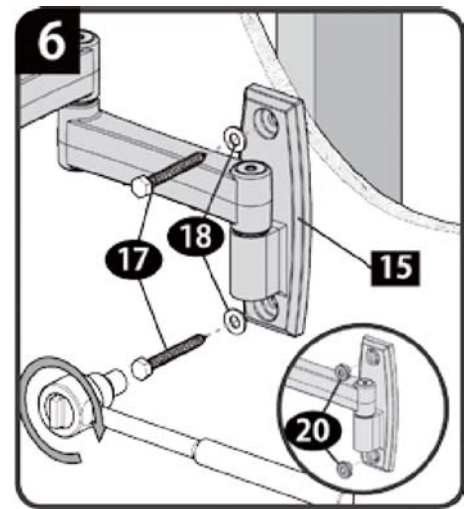
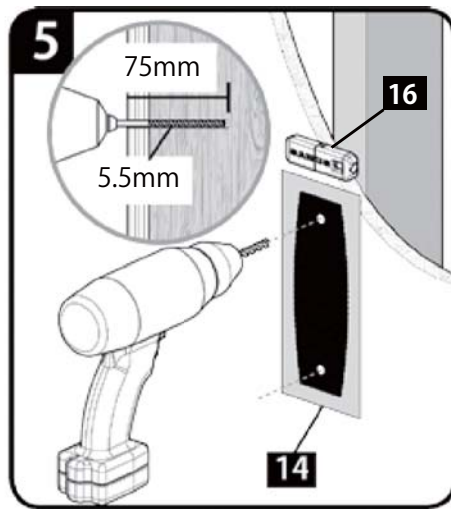
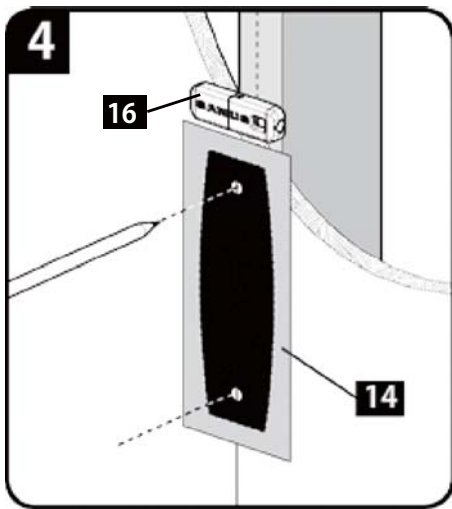
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。



注記: 下地センサー (木柱センサー) は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせるものです。

左記の1~3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、左図の様に柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング (両端) から柱の中心位置にマーキングを付けます。



4. 水準器 [16] で水平を確認しながら、壁掛金具型紙 [14] を、任意の高さで、穴位置が柱の中心線上になるように配置し、テープで壁面に仮に貼り付けます。

重要: マーキングして下穴を開ける時は、必ず柱の中心線上になるようにしてください。

5. 柱のマーキングの位置に下穴を開けます。下穴は 5.5mm 径のドリルビットを使って、約 75mm の深さに穴を 2 箇所開けます。

6. 壁掛金具 [15] を下穴にあわせて、ラグボルト [17] とラグボルト用ワッシャー [18] で柱に固定し、最後にボルトカバー [20] でラグボルト [17] を目隠しして下さい。

警告: 水準器 [16] には、磁石が含まれています。ペースメーカーや埋め込み型除細動器 (ICD) 等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも 13 センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。

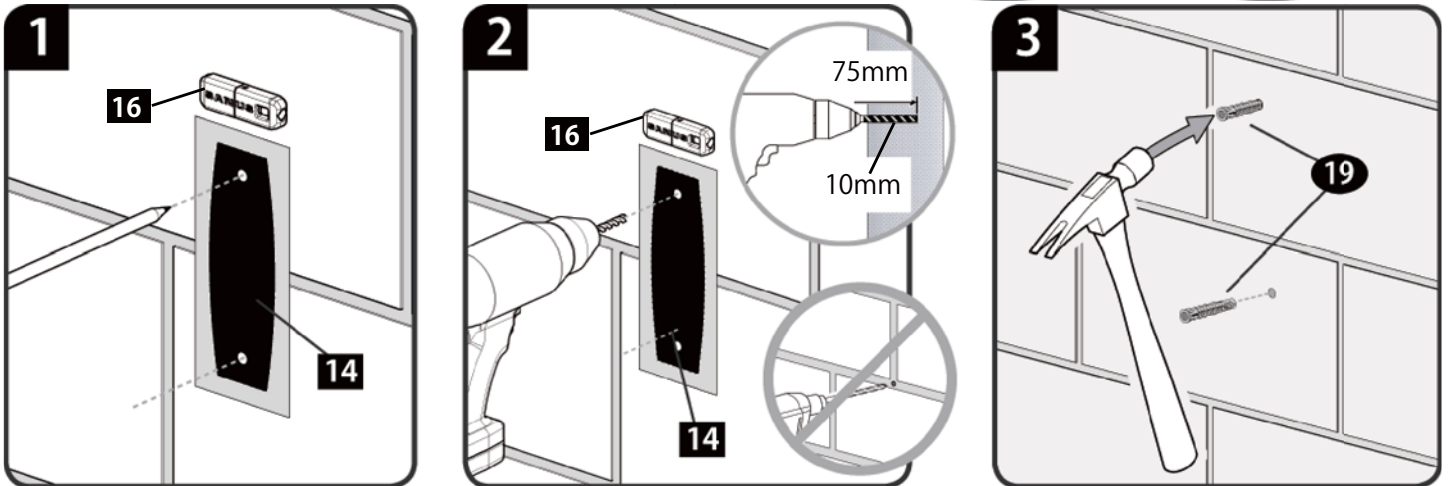
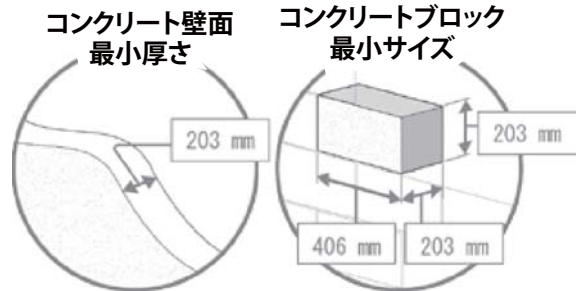
STEP 2B

コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

- 施工の条件： ★ 壁掛金具[15]は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。
- ★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
- ★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
- (空洞のあるものには使用できません。)



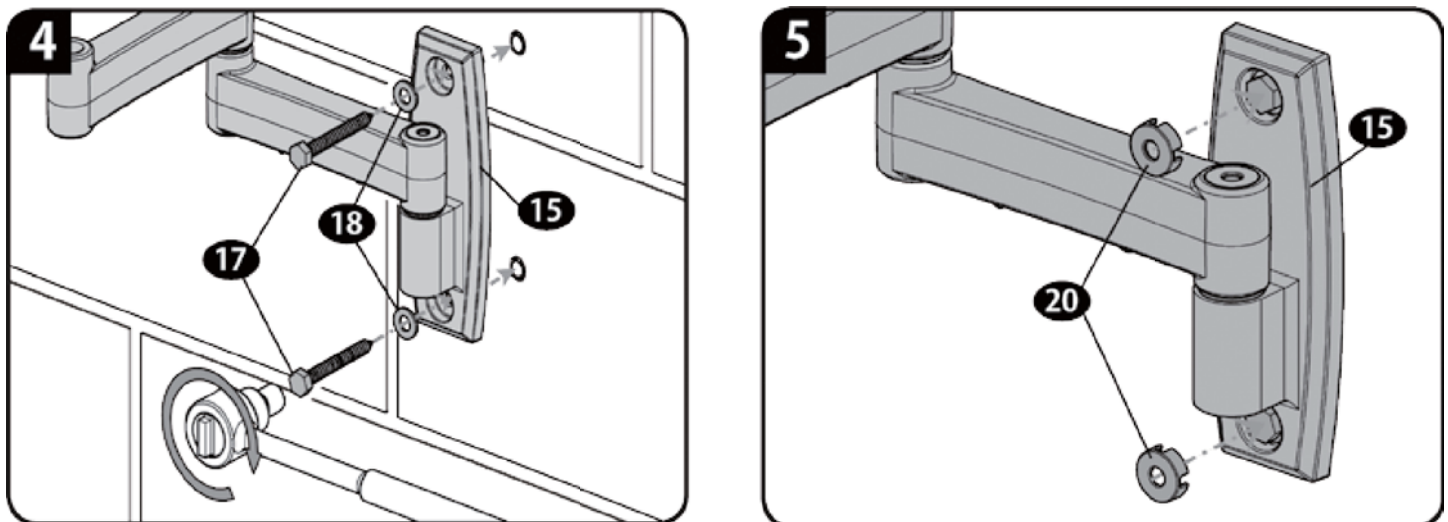
1. 水準器 [16] で水平を確認しながら、壁掛金具型紙 [14] を任意の高さで穴位置が柱の中心線になるように配置し、テープで壁面に仮に貼り付け、図のようにラグボルトを入れる丸穴部分にペンでマーキングを付けます。

2. 柱のマーキングの位置に下穴を開けます。下穴は 5.5mm 径のドリルビットを使って、約 75mm の深さに穴を 2箇所開けます。

重要: ブロックの間のモルタル部は、取り付け強度が保てないのでドリルで絶対穴を開けないで下さい。

3. 壁掛金具型紙 [14] を取り除いてから、2個のコンクリートアンカー [19] を壁面に挿入します。

重要: コンクリートアンカー [19] は、コンクリート壁面と同一平面に取り付けている事を確認します。



4. 壁掛金具 [15] をコンクリートアンカー [19] の穴にあわせて、ラグボルト [17] とラグボルト用ワッシャー [18] で柱に固定します。

5. 最後にボルトカバー [20] でラグボルト [17] を目隠しして下さい。

STEP 3 テレビを壁掛金具に取付ける

STEP 3 で使用する部品類

警告：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。
 組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認して下さい。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡下さい。破損した部品は絶対に使用しないで下さい。

注意：付属の部品をすべて使用するわけではありません。



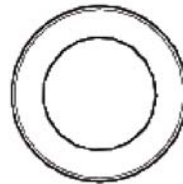
ボルトカバー

20 x2



21 x1 回転軸ピン

大型ワッシャー



22 x1

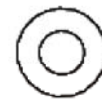
マウンティング
ボルト用ナット



23 x1



24 x1 マウンティングボルト



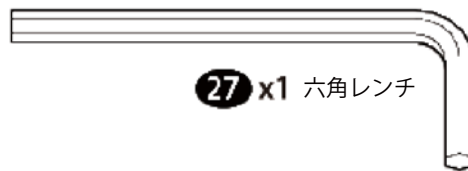
25 x1



26 x2

スペーサー

ワッシャー



27 x1 六角レンチ

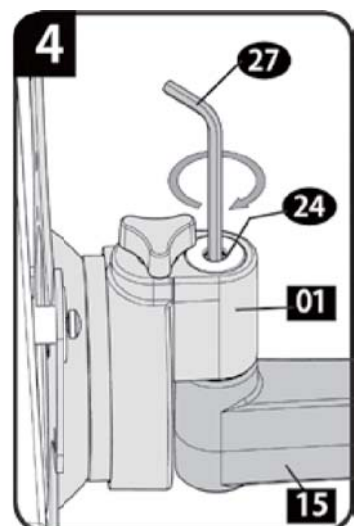
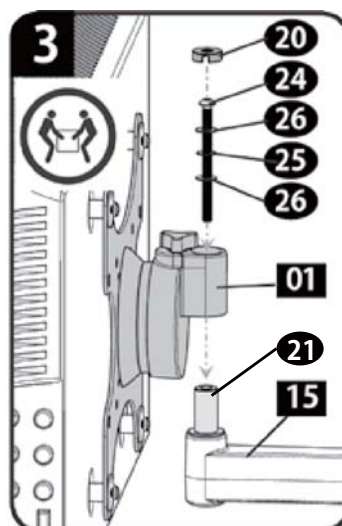
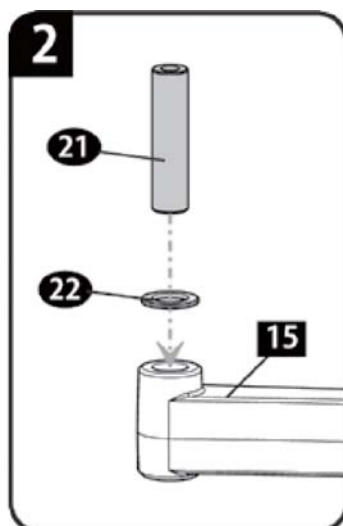
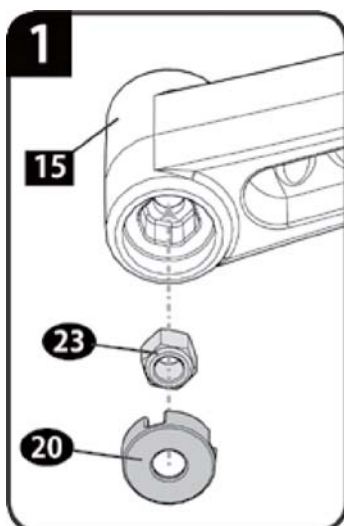
木柱壁に取り付ける場合は、5ページのSTEP 2Aに従って固定します。コンクリート壁に取り付ける場合は、7ページのSTEP 2Bに従って固定します。

1. マウンティングボルト用ナット [23] とボルトカバー [20] を、図のように壁掛金具 [15] の下側に取り付けます。
2. 大型ワッシャー [22] と回転軸ピン [21] を、図に示す様に壁掛金具 [15] の上側に取り付けます。
3. 薄型テレビを取り付けたブラケット [01] を、図のように、回転軸ピン [21] に取り付けます。次に3図に示す順序でワッシャー [26] とスペーサー [25] を、マウンティングボルト [24] に取り付けてから、このマウンティングボルト [24] をマウントブラケット [01] と回転軸ピン [21] に通して、マウンティングボルト用ナット [23] に達するまで差し込み、ボルトカバー [20] を取り付けます。



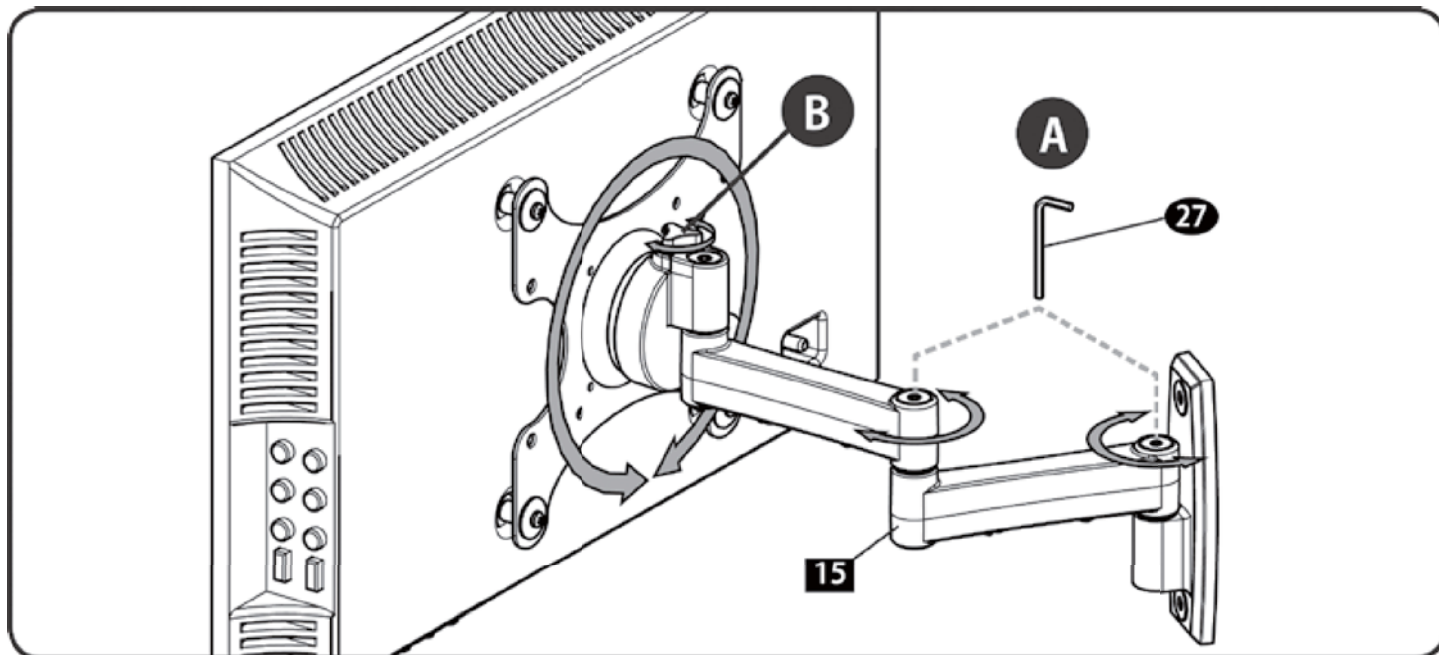
注意 重量があります！
この作業は二人以上で行って下さい。

4. 六角レンチ [27] でマウンティングボルト [24] を締め付けて、マウントブラケット [01] をアームに固定します



STEP 4 テンション調節

1. 壁掛金具 [15] の可動部のテンションの強弱は、(A) の 2 箇所のネジを、六角レンチ [27] を使って調整します。
2. 次に、図に示す [B] のつまみを一旦緩めてから、ブラケット [01] の回転機能で薄型テレビをお好みの回転位置に合わせます。回転位置が決定したら、[B] のつまみを締め付けて薄型テレビを固定します。



STEP 5 ケーブル類の整理

STEP 5 で使用する部品類



警告:

本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認して下さい。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡下さい。破損した部品は絶対に使用しないで下さい。

ケーブルプレート



28 x2

ケーブルプレート固定ネジ



8-32 x 1/2

29 x4



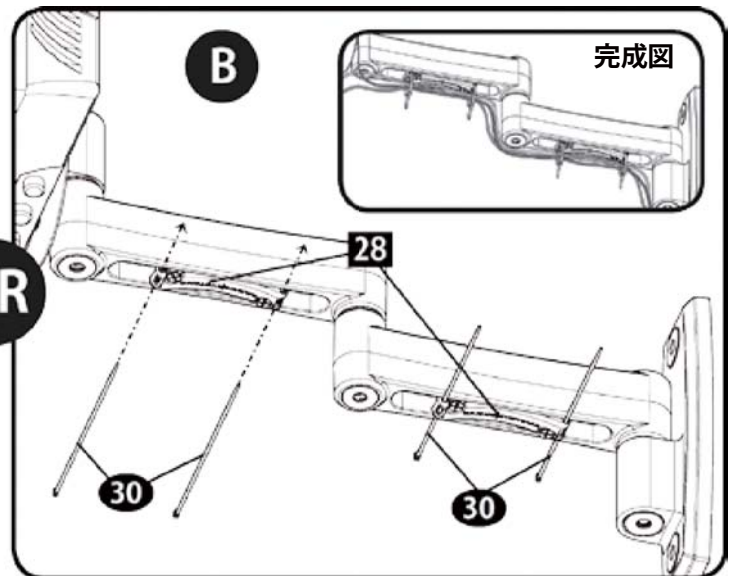
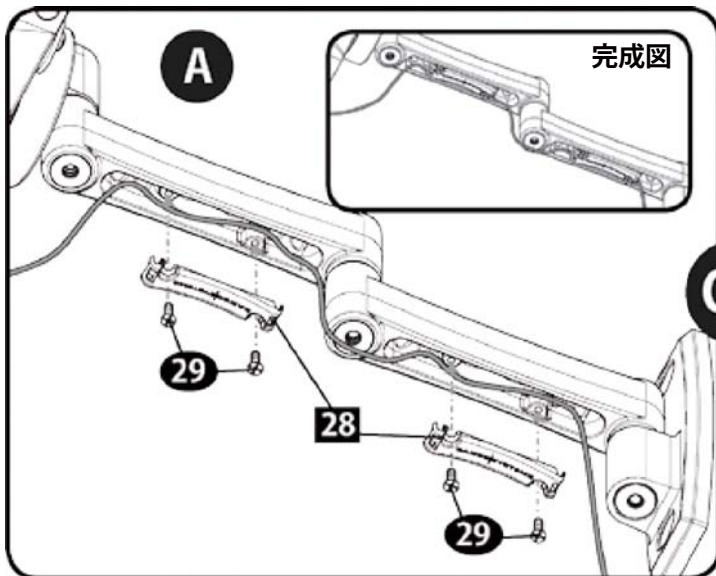
結束バンド 30 x4



注意:

ケーブル類を底面の溝に配線する前に、アームを前面方向に最大限に引き伸ばします。その際、ケーブル類に余裕を持たせて、アームを動かしたりした場合でも、ケーブルに無理な力をかけずに収納できるよう調整してください。

1. ケーブル類を（図 A）のようにアーム下の溝の部分に配線します。
2. 2 個のケーブルプレート [28] を（図 A）に示す位置に、各々ケーブルプレート固定ネジ [29] 2 本で固定します。
3. 上記で収納できなかったケーブルは、結束バンド [30] を（図 B）のようにケーブルプレート [28] に取付けて、（図 B）の完成図に示す様にケーブル類を整理できます。



Memo

A memo form with a header and 20 horizontal lines for writing. The header is a rounded rectangle at the top, and the lines are evenly spaced and extend across the width of the page.

外觀圖

單位：mm

